

## 令和4年度第1回「人権行政に関する懇話会」議事概要

【日 時】 令和4年4月25日（月）15：00～16：30

【場 所】 アクロス福岡 601 会議室

【出席者】 ○：懇話会委員

新谷委員、小出委員、野々村委員、松原委員、八尋委員

●：事務局

人権部長、人権推進課長、地域施策課長、人権啓発センター所長 他

【傍聴人】 なし

【議 題】 人権問題に関する市民意識調査について  
(事務局より、資料に基づき内容を説明)

### 【発言要旨】

(問1(ア)性別欄について)

- 調査の秘密を確実に守るという注意書きが必要。
- 過去の調査からも男女で回答が異なり、性別欄は設けたほうがいい。
- 女性はまだまだ社会的に弱い立場に置かれており、どのような差別を受けているかを把握するためにも、性別欄はまだ必要。
- 選択肢3「回答したくない」の表現に抵抗がある。無回答でも問題がないことが分かるような工夫が必要。例えば、「男性・女性・回答しない」でよいのではないか。
- 性別欄の必要性や表現については、いただいた意見を踏まえて検討する。

(問1(ウ)職業等の区分について)

- 「正規」「非正規」という表現は適当か。注釈や説明で雇用形態が分かればよいのではないか。
- 職業等の区分は、他の調査を参考に修正したところであり、改めて表現を検討したい。

(問2「あなたやあなたの周りにおいて、人権が守られていると感じるか」について)

- この設問は、出てきた結果をどのように評価するのか、意図がよく分からない。例えば、「守られていると感じる」ことをどう評価するのか。
- 「いちがいいには言えない」という選択肢があると、それを選択する人が多いのではないか。
- 自分や周りのことなど回答者が答えやすい問いが冒頭にあったほうがいいのか、今回新たな設問として検討している。ご意見を踏まえて、引き続き、検討する。

(問5「どの程度人権に関心があるか」の選択肢1「非常に」の削除について)

- 選択肢1「非常に」という文言は不要だと思う。
- 選択肢2「多少関心がある」の「多少」というのは曖昧な表現で答えにくいのではないか。

(旧問9「同和問題解決のためにどのような方向性が望ましいか」について)

- 同和問題について、どのような認識を持たれているか分かるなど、具体的な問題点に分かる設問であり残した方がよい。
- 行政のすべき事が明らかになる大事な設問だと思う。

(各人権課題の「必要なことはどのようなことか」という設問の削除について)

- 人権問題は、市民の問題ではなく行政の問題である。福岡市が人権問題に関して何を行っていて、市民からそのことを理解されているかどうか重要。行政施策をチェックしてもらうためにも「必要だと思うこと」の設問があった方がよいのではないか。
- 人権問題は、教育に関する制度の問題という指摘もある。個別の人権問題毎ではなくとも、共通して、人権教育の問題点など、人権課題を解決するために必要なことを聞く設問を作ってはどうか。
- いまの「問題があると思うこと」の設問では、「必要だと思うこと」の設問の選択肢を網羅できていない。「必要だと思うこと」を一つの設問にまとめるのであれば、選択肢の整理が必要。
- いずれの設問でも教育や啓発に関する選択肢が多い。制度や施策、ハード面の整備も選択肢に加えていただきたい。
- 本意識調査は、市民の方々が考える人権に関する問題点や教育啓発の現状等を把握し、施策につなげていくことを目的に実施する。様々なご意見をいただいたところであり、設問や選択肢について内部で検討し、改めてご意見をお伺いしたいと考えている。